

令和 4 年度 評価・反省

- ◎飢餓をゼロに・・・コロナ対策をしながら米やしいたけ栽培、スイートポテト、おにぎり、恵方巻、オリジナルパフェ、たこ焼き作りを行いました。栽培では、育て方や成長過程を知り、作る大変さや食べる大切さを学ぶことが出来、クッキングでは作ることの楽しさや食べることへの興味を引き出すことが出来ました。初の試みとして、魚屋さんによるブリの解体ショーを行いました。普段魚を捌くことを目にする機会は少ないと感じ、また魚への興味を少しでも持ってもらいたいとの思いから実施しました。魚が切り身になるまでの工程を知ったり、魚に関しての質問をするなど有意義な時間となりました。
- ◎ジェンダー平等を実現しよう・・・性別を理由にした声掛けをせず「一人の子ども」という認識で過ごしました。保育士の考えが子ども達にも伝わっているようで散歩に行く際、男女に捉われることなく子どもたち自身で手を繋ぐ友達を決めています。
- ◎共感力や意思決定力は、子どもの姿を認めたり十分に褒めたりすることを心掛けながら保育をすることで育むことが出来ています。意思決定力は、意識して行いつつも余裕のない場面では保育士からの一方的な声掛けや遊びの提供になってしまうことがあり、環境作りや子ども自身が選択、決断できる機会を増やしていく必要があると感じています。
- ◎コロナに関しては、世の中の動きを見たり、様々な所からの情報を得て、感染者数が少ない時には保育園のルールを緩和しながら過ごしました。見極めが難しい時もありましたが、子ども達にとって今しか出来ないことがあるので、感染症対策をやり過ぎないように気を付け、臨機応変に対応することを心掛けました。感染者はいましたが少人数で済み、感染対策の効果かインフルエンザは1名も出ませんでした。
- ◎新たな試みとして、0歳児クラス対象の「オムツのサブスク」を取り入れました。オムツやおしり拭きを買う手間が減ったり、オムツへの記名がなくなったと好評です。(使用済みオムツの持ち帰りはありません)
また、5歳児クラス対象の「プログラミング教室」を始めました。講師の先生の指導の下、一人一台タブレットを持ちゲーム感覚で楽しんで取り組んでいます。
- ◎地域の方対象の取り組みとしては「ぴよぴよ広場」「ベビーマッサージ」「園庭開放」を実施しました。コロナ対策のため人数を限定したことにより、参加出来なかった方々がおり、申し訳なく思っています。令和5年度は受入れ可能な人数を増やして実施する予定ですので、奮ってご参加ください。

今年度の評価・反省を生かし次年度につなげていきたいと思っております。